

笠間の春の風物詩 ～陶炎祭・つつじまつり～



今年は約55万人が訪れ、過去最高の人出となりました。



会場は多くの来場者で賑わっていました。



色とりどりに咲き誇るつつじ



茨城県立笠間陶芸大学校

編集後記

新笠間市は、今年10周年を迎えました。

10周年記念イベントも各地で開催され、市民の一体感をさらに高めるものとなりました。

さて、4月29日から5月5日にかけては、五月晴れの青空のもと、第35回「笠間の陶炎祭」が盛大に開催されました。県外ナンバーの車も多くみられ、認知度も年々高まってきています。老若男女を問わず、みんなが陶芸を通して楽しんでるのも、この祭りならではです。

また、今年4月には、県の窯業指導所が「笠間陶芸大学校」として生まれ変わり、記念すべき年となりました。先人たちが夢見てきた「世界の笠間焼」という精神が脈々と受け継がれ育ってきています。

歴史と文化を大切にする笠間市のさらなる発展を願っています。

(橋本良一)

広報委員会

委員長	大関 久義
副委員長	村上 寿之
委員	石井 栄
委員	菅井 信
委員	畑岡 洋二
委員	橋本 良一
委員	石田 安夫
委員	西山 猛

